

追加調査の結果概要

市場調査(WEBアンケート・ヒアリング)の結果概要と追加調査

○市場調査結果を踏まえ、事業の検討に必要な情報を把握するため、3種類の追加調査を実施した。

1. 市場調査(WEBアンケート) 令和2年度実施

- 162社から回答があり、参画(投資)意欲のある事業者34社を把握

2. 市場調査(ヒアリング) 令和3年度実施

- 参画(投資)意欲がある事業者及び交通事業者32社にヒアリング
【事業者より得られた様々な意見の中に、以下のような意見が見られた】

参画に向けた課題・条件への意見

現状のバス利用状況や今後の路線運営方針などの情報が必要。 (①)

導入機能は、周辺エリアのまちづくりとの連携を考慮した検討が必要。 (②)

上層部の民間施設への導入機能<実現する上での課題・条件>への意見

商業施設は駅周辺で整備される施設の規模次第で需要の有無が変わる。 (②)

この場所を訪れる人の動機が何かを把握する必要がある。 (③)

3. 追加調査 令和3年度実施

- ① バス事業者ヒアリング
- ② 開発動向調査
- ③ 市民意識調査

追加調査の概要

○追加調査は、市場調査(ヒアリング)で得られた意見を踏まえ、以下の内容を調査した。

■調査期間: 令和3年12月～令和4年2月上旬

調査名	調査対象	調査方法	目的	内容
①バス事業者ヒアリング	新潟駅を発着するバス事業者	・ヒアリング (対面・WEB会議)	施設計画やコンセッション業務の参考意見とする	・今後のバス便数の方針 ・バスターミナルの必要設備 など
②開発動向調査	・新潟市 ・地元まちづくり団体 ・駅周辺開発事業者	・ヒアリング (対面・WEB会議) ・ヒアリングシート記入	導入機能(本施設に求められる機能)の参考意見とする	・新潟駅構内や駅周辺の開発動向 ・まちづくり上の課題 ・導入機能に対するニーズ
③市民意識調査	・新潟市民 ・新潟県民 (新潟市以外)	・WEBアンケート (アンケート会社登録モニター)	導入機能の参考意見とする	・民間施設への導入機能のニーズ ・新潟駅周辺への来訪状況(目的・頻度等) など

追加調査結果のまとめ

○追加調査の目的、把握した意見を以下に整理した。

調査名	目的	把握した意見等
①バス事業者ヒアリング	施設計画やコンセプション業務の参考意見とする	<ul style="list-style-type: none">・将来便数の見込みは、<u>コロナ禍の状態を維持</u>という事業者、<u>コロナ禍以前の便数に戻すもしくは増やしたい</u>という事業者の声があった。・バスターミナルに必要な機能は、<u>有人窓口、パウダールーム、コインロッカー、手荷物預かり、デジタルサイネージによる乗車案内</u>。・十分な手荷物預かりスペースの確保、早朝・深夜も営業する売店・飲食店等が周囲にあることが望ましい。
②開発動向調査	導入機能（本施設に求められる機能）の参考意見とする	<ul style="list-style-type: none">・駅周辺地域の開発動向として、<u>万代地区の商業施設のリニューアル計画、駅高架下の店舗等の整備計画、信濃川沿いのマンションの増加</u>。・駅周辺、特に南口に現在不足している、<u>屋根付きデッキ、イベント利用可能な空間、観光施設などの広域集客機能</u>等があると望ましい。
③市民意識調査	導入機能の参考意見とする	<ul style="list-style-type: none">・駅周辺に必要なだと思ふ機能は、<u>駐車場、飲食店、物販店、宿泊機能のニーズが高い</u>。・上記の他、駅周辺への来訪頻度・目的・交通手段、必要な防災機能に関するニーズを把握した。